

にじいろ

セクシュアルマイノリティ・ボランティアサークル

 **スクランブルエッグ**

[http://gochamazetamago.
main.jp/](http://gochamazetamago.main.jp/)



今年の夏は短かったですね～。寒くなってきましたが、県内ではこれから開催のイベントもあります！
アピオあおもり秋まつりにも参加しますので、是非会場でお会いしましょう(≧▽≦)

IDAHO メッセージ展にご来場いただき ありがとうございました！

2014年7月13日、青森市アウガにて今年も映画祭と共催で IDAHO メッセージ展を無事開催する事が出来ました！

当日は若干4歳の子が、展示されたメッセージを見た後に自分で考えたメッセージを書いたりくれたりと驚く事もあり、初めて来てくれた方も何人かいたり、新たなセクマイさんと出会えたりなど、昨年とは少し違った流れがありました。

そして今回は新たにスタッフの私物ではありますが、関連の本を並べてみた所、映画の待ち時間などで読んでくれたり、目を通して行ってくれる方もいて、これでまた少し理解が深められたかなと感じました。

来場頂いた方や、メッセージをご覧頂き本当に感謝の念で一杯です！本当にありがとうございました。来年も頑張るぞ！

(栞)



当日の様子

今年もアピオあおもり秋まつりに参加します！ 講座「同性婚を考えよう ～ふたりが結婚できたら？できなかつたら？」

- 日時：11月1日(土) 10:00~12:00
- 場所：アピオあおもり 2階 小研修室1
- 定員：27名 ■参加費：無料
- 申込：不要

日本では現在認められていないとされる、同性婚。その一方で、法的な婚姻関係はなくても結婚式を挙げる同性カップルもいます。結婚って何だろう？同性婚って必要なの？

今回は海外の事例や日本の状況に触れつつ、同性婚について考えます。



【東北各地でイベントを開催している団体】

- 青森国際ナショナルLGBTフィルムフェスティバル
<http://www.aomori-lgbtff.org/>
- 性と人権ネットワーク ESTO
<http://akita.cool.ne.jp/esto/>
- 岩手レインボー・ネットワーク
<http://ameblo.jp/iwaterainbownetwork/>
- ♀×♀お茶っこ飲み会・仙台
<http://blog.goo.ne.jp/ochakkonomi>
- Anego <http://blog.canpan.info/anego/>
- やろっこ <http://sendai865.web.fc2.com/>

ここで生きる

～多様な“性”と“生”～



今回の特集では、ここ青森県で暮らした経験のあるセクシュアルマイノティーの方へインタビューしました。インタビューに答えて下さったのは、20代のNさん（仮称）です。これまでの体験や思いを話して頂きました。

—— Nさんのセクシュアリティは何ですか？

N：私はノンセクシュアルのバイです。好きになる相手は男女関係ないけれど、性的な行為はごめんなさい…なセクシュアリティです。

—— ノンセクシュアルとのことですが、Nさんは心と体、社会的な性は一致しているのでしょうか？

N：はい。私は体の性も、心の性も、社会的な性も、女性です。だからって、女性だから〇〇すべき！みたいな考え方は嫌いですけど…。

—— そうなんですね。Nさんは、自分がノンセクシュアルだと気づいたきっかけなど、ありましたか？

N：女子高時代に、初めて女の子を好きになったんです。それまでは男性だけが恋愛対象だったので、その時は女子高にいるがゆえの一時的なものだと思っていました。

ですが、大学に入って好きな男性が出来たときの『好き』という感覚が、高校時代に女の子を好きになったときと同じ感覚だということに気付いて…その人に対して独占欲はあるんですが、性的な関係というのは興味がなくて。そこでノンセクシュアルというセクシュアリティの存在を知り、ようやく自分を見つめられたような気がしました。

—— そうでしたか。

これまでノンセクシュアルで良かった！と思ったことや、逆に不便だな・困ったな…と思ったことがあれば、教えて頂けますか？

N：そうですね…私の場合、マジョリティの方ともマイノリティの方とも悩みを共有出来ない、ということが一番のネックです。

トランスさんやビアンさんが集まるイベントはたくさんありますが、ノンセクシュアルの人が集まるイベントはほとんどなく…そもそも、ノンセクシュアルが1つのセクシュアリティとして認識されていない場合がほとんどなんです。



それに、ノンセクシュアルであることをカミングアウトしようにも、結局何をカミングアウトしたいのか、何を配慮してほしいのかを伝えるのが難しいので、何も言わない方が吉、ということも多いです。

とりあえず、男性に性の対象として好きになられてしまうと困るので、ある程度仲良くなった人には『レズビアン』と偽ってカミングアウトすることもあります。

また、これはセクシュアルマイノリティ全般の悩みかと思いますが、『早く結婚しよう！』『早く子供を産もう！』みたいな世の中の流れが…なんかかならないものかと。同性婚についても、認められたら悩みが減るよね？みたいに思われてるのもちょっと違って…それで救われる人がたくさんいることは確かですが、私は全然救われないので…。私の場合は、『同性婚を認めよう！』より『友達結婚を推進しよう！』の方がしっくりきます。

良かった！と感じたことは、正直思い当たらないです。

—— そうなんですね…。ということは、これまで同じ
ノンセクシュアルの方々と交流したことは…？

N：自分と同じノンセクシュアルのバイ、という人はい
なかったですね。ノンセクシュアルのトランスなど、他
のマイノリティ要素で悩んでる方とは何人かお会いし
たことがあります。

ノンセクシュアルの異性愛者、という方と出会えたら、
もしかしたら話が合うのかも知れませんが、そもそも
そういう方は『異性愛』という時点で自分が『マイノ
リティ』という自覚もないかと思うので…交流の場
には出てこないのではないかと思います。



—— 自分と同じセクシュアリティの人と出会えないというのは、自分以外にも同じ境遇の人がいると分
かってはいても心細いですよね。

もしNさんと同じノンセクシュアルの方と出会えたら、どのような話をしたいですか？

N：ノンセクシュアルではない人を好きになってしまったらどうするのか、聞いてみたいです。仮に付き合う
ことになったとしてもお互いに求めるところは違う訳で、どちらかが我慢しなくてはいけないので…だっ
たら付き合うとか考えるなって話なんですけど、友達以上の関係になれないのは何か物足りなくて…。

逆に、ノンセクシュアルではない人に好きになられてしまった時に、こっちのセクシュアリティを理解
してもらえず「考え方が変わるの待ってる」とか「むしろ変えてやる！」とかみたいに言われてしまうと
悩んでしまうので、相談してみたいですね。

—— 最後に、Nさんと同じノンセクシュアルの方がこの記事を見ているとしたら、どのようなメッセ
ージを送りたいですか？

N：私は自分のセクシュアリティを前向きに捉えられてはいませんが、悪いことだとは思っていません。
このセクシュアリティを自分らしさと認めた上で、どうしたら幸せになれるのかが見えていないだけ
です。

もし、今悩んでいるのでしたら一緒に悩みましょう。

もし、幸せになれるような方法が見つかるのであれば、ぜひ教えてください。

…全体的に救われないような内容になってしまいましたが、以上です。

—— セクシュアルマイノリティの方々と出会うことの多い私たちですが、インタビューを通してまだまだ
知らないセクシュアリティや悩み、思いがあるんだな、と改めて感じました。

今日は色々お話をいただき、ありがとうございました！

N：ありがとうございました。

これはあくまで、Nさんの経験にもとづいた感想や意見であり、すべてのノンセクシュアルさんがこのように
感じているとは限りません。

100人いけば、100通りの性があるとされています。身近なところで多様な性の在り方や恋愛のカタチがある
こと、悩みながらも一生懸命生きていることが、少しでもたくさんの人に伝わりますように。 (愛理)



一人ひとり、みんなちょっとずつ違うんだよね。セクシュアリティも、恋愛の
カタチも、生き方も、その人の大切な個性の一部なんだよ！

デーリー東北、読売新聞に特集記事掲載！

先日、デーリー東北新聞社さんと読売新聞（青森）さんがセクマイについての特集記事を掲載くださり、スクランブルエッグのメンバーも取材に協力させていただきました（*^^*）



デーリー東北（8月25日）



読売新聞（9月23・24日連載）

性の問題に関わらず、少数である人達のことはなかなか理解を示してもらいにくいこともあります。

記事をきっかけに、こういう人もいるんだ、この人も幸せになれるような世の中になればいいな、そんな風に思ってくれる人が少しでも増えたり、今悩んでいる誰かの勇気になれば嬉しいです！

【秋田のフォーラムに参加してきました】

去る 7/26、秋田市で行われた「希望あるライフスタイルのためのフォーラムー5年後の未来の君へ」へ参加してきました。

パネリストとしてお話をされたのは、2012年に東京ディズニーリゾートで同性カップルとして初めて結婚式を行った東小雪さんと増原裕子さん、フェンシング元日本代表で性同一性障害の杉山文野さんという、テレビにもよく出演されるような豪華メンバーでした。

テレビにも出るような人達ということもあって、正直お会いするまではどこか遠い存在のようにも思っていました。でも実際にお話を伺ってみると、それぞれが悩んだ時期もあり、今現在悩んでいることもあり…私達と同じなんだと感じました。また東さんは故郷・石川でも活動されていて、地方特有の問題があることも強く感じていらっしゃいました。

それぞれに大変なことはたくさんあるけれど、パネリストのみなさんのように、その中でも自分らしさを大切に、希望を見つけて歩んでいきたいと改めて思いました。（創）

作品等の紹介コーナー

SMASH HIT!

『ハッシュ!』日本/2001年

直也と勝裕がゲイのカップルであることを承知で2人の元に、「子どもが欲しいの、協力してくれない?」と現れた朝子。次第に心を通わせる3人に、笑えて、泣けます。同性愛を扱っているけど、同性愛にとどまらない。「一人じゃないっていいよね」、そう思わせてくれます。ぜひ、ご覧ください。（けんじ）



【編集後記】

Wordが使いこなせません…にじたまはテキストボックスで頑張っていますよ～（汗）

創



☆☆☆メルマガ登録受付中！！☆☆☆

スクランブルエッグでは、メールマガジンを時々発行しています！登録は無料です（〜）

「無理せず楽しく、自分達の生活を大事にしなが、できることをしてみよう!」というのがモットーの当たまご。イベント自体は年に2~3回程度ですが、開催のお知らせのメール等を配信させていただきます予定です。

登録ご希望の方は、件名に「メルマガ希望」と入れて、gochamazetamago@yahoo.co.jp までご連絡ください！

【にじたまの主な設置場所】

青森県立図書館／青森市民図書館／青森県男女共同参画センター「アピオあおもり」／青森市男女共同参画プラザ「カダール」／弘前市立図書館／弘前市民参画センター／弘前大学／FMアップルウェーブ／藤崎町ふれあいずーむ館／平川市文化センター／スポカルイン黒石／五所川原市立図書館／八戸市立図書館／八戸市図書情報センター／八戸市民活動サポートセンター「ふれあいセンターわいく」／十和田市民図書館／三沢市公会堂／むつ市立図書館